

めに手指消毒をする。<sup>112</sup>(ⅡA)

- 2.8 芽胞菌(*C. difficile*など)に接触した疑いがある場合はアルコールを主成分とする擦式手指消毒製剤ではなく、石鹼と流水による手洗いあるいは手指洗浄消毒製剤と流水で手指を洗浄消毒する。<sup>113</sup>(ⅡA)
- 2.9 手洗いの遵守率の向上には恒常的な教育・研修や、様々な介入(手洗いに関するキャンペーンの実施、手洗い状況のモニター)を組み合わせる繰り返しの行なう。<sup>114, 115</sup>(ⅢA)
- 2.10 手洗いによる刺激性接触皮膚炎の発症を抑えるためハンドローションやクリームで手の皮膚をケアする。<sup>116, 117</sup>(ⅢA)

### 3 手袋

- 3.1 血液、体液あるいは分泌物、粘膜、傷のある皮膚に接触する可能性がある時、あるいは血液、体液で汚染された物品(医療器材)に接触する時は手袋を着用する。<sup>118</sup>(ⅢA)
- 3.2 手袋を外す動作で手指が汚染される可能性があるため、手袋を外した後は、手指消毒をする。<sup>119, 120</sup>(ⅡA)
- 3.3 粘膜や創傷皮膚(無菌組織を含まない)への接触の際には、清潔な(未滅菌で良い)手袋を使用する。<sup>121</sup>(ⅢA)
- 3.4 ガーゼ交換時には清潔な(未滅菌で良い)手袋を着用する。(ⅢA)
- 3.5 内視鏡検査処置でも内視鏡を操作する際には、粘膜や体液との接触するため、清潔な(未滅菌で良い)手袋を使用する。<sup>122</sup>(ⅢA)
- 3.6 患者の健全な皮膚に接触する場合であっても、医療従事者が手に切り傷、病変部、あるいは皮膚炎があるときには、清潔な(未滅菌で良い)手袋を使用する。(ⅢA)
- 3.7 単回使用の手袋の再処理使用はしない。<sup>123, 124</sup>(ⅣA)
- 3.8 同じ患者であっても、処置毎に清潔な(未滅菌で良い)手袋を交換する。<sup>125</sup>(ⅢA)

### 4 ガウン

- 4.1 処置や患者ケアの過程で皮膚や着衣の汚染が予測される場合は撥水性のガウンを着用する。<sup>126, 127, 128</sup>(ⅢA)
- 4.2 着用していたガウンは使用後直ちに外し、廃棄する。その後手指消毒を行なう。(ⅢA)

### 5 マスク・ゴーグル

- 5.1 処置や患者ケアの過程で目・鼻・口の粘膜に体液などによる汚染が予測される場合(血液やその他体液、分泌物の飛散)はマスク・ゴーグル・フェイスシールドを使用する。<sup>129</sup>(ⅢA)